

平成28年度 健康福祉学研究科 発表会プログラム

発表会日時：平成29年1月28日（土）9：00～16：05

発表会会場：看護棟6号館 F112教室

発表時間：修士論文発表と博士論文発表は、発表20分、質疑応答5分、計25分。

学会発表補助報告は、発表7分、質疑応答3分、計10分。

博士論文中間報告は、発表10分、質疑応答5分、計15分。

進行：発表終了前2分（1鈴） 発表終了（2鈴） 質疑応答終了（3鈴）

研究科長挨拶（9：00～9：05）

修士論文発表

順番	氏名	修士論文題目	時間	担当教員 (○は司会者)
1	河本 乃里	就業継続3年が職業継続意欲へ及ぼす要因の検討 -看護師における3年神話の検証から-	9：05～ 9：30	○ 田中マキ子 内田 耕一 上白木悦子
2	田中 孝恵	少子化時代における小児看護学の学習内容の検討	9：30～ 9：55	○ 田中マキ子 園田 純子 宮崎まさ江
3	林 瑞恵	過疎地域で暮らす在宅高齢者の廃用症候群の予防につながる生活要因の検討	9：55～ 10：20	○ 横山 正博 吉村 耕一 弘津 公子
4	松元 悦子	難病患者における医療従事者に対する心理過程の解明	10：20～ 10：45	○ 田中マキ子 中村 文哉 乃木 章子
5	宮本 恵子	単位子ども会役員が抱える負担感とやりがいについての検討	10：45～ 11：10	○ 中村 仁志 加登田恵子 草平 武志
6	李 草	近代化と引きこもりに関する研究 -中日比較の視点から-	11：10～ 11：35	○ 坂本 俊彦 草平 武志 藤村 孝枝
7	久保木 紀子	地域在住高齢者の転倒予防につながる日常生活行動特性	11：35～ 12：00	○ 藤村 孝枝 吉村 耕一 草平 武志
休 憩			12：00	～ 12：50

学会発表補助報告

学年	氏名	学会発表題目	時間	担当教員
前期1年	白蓋 真弥	看護学実習及び演習場面における効果的な叱り方とやる気の関連性	12：50～ 13：00	中村 仁志
前期2年	新開 奏恵	慢性疾患の子どもを支える養護教諭の教育実践	13：00～ 13：10	横山 正博
前期2年	山本 倫也	Investigation of the VNC-inducing materials in C. jejuni	13：10～ 13：20	吉村 耕一
後期1年	山根 千絵	子ども家庭に対するファミリーソーシャルワーク実践の現状と課題 -児童家庭支援センター専門職員の意識から-	13：20～ 13：30	横山 正博
休 憩			13：30	～ 13：35

博士論文中間発表

順番	氏名	博士論文題目	時間	担当教員 (○は司会者)
1	中村 敦子	育児支援に関わる中高年女性の母性性、世代性の発達に関する研究	13：35～ 13：50	○ 田中マキ子 人見 英里 上白木悦子
2	箕越 功浩	血管機能の新たな測定方法の検討 ～レーザースペックル二次元血流画像化法の応用～	13：50～ 14：05	○ 長坂 祐二 曾根 文夫 上白木悦子
3	中津井貴子	児童生徒に対する食育の指導方法と評価に関する研究	14：05～ 14：20	○ 長坂 祐二 田中マキ子 吉村 耕一
4	松野 恭子	1型糖尿病患者における発症時の栄養指導に対する受け止め方がその後の食生活及び療養生活に与える影響について	14：20～ 14：35	○ 長坂 祐二 吉村 耕一 人見 英里
5	三谷 明美	母親の自己効力感を刺激するベビーピクスプログラムの検証	14：35～ 14：50	○ 田中マキ子 長坂 祐二 上白木悦子
6	矢田フミエ	看護学生のリフレクションを活性化させる教育方法の創出	14：50～ 15：05	○ 田中マキ子 長坂 祐二 横山 正博
休 憩			15：05	～ 15：10

博士論文発表

順番	氏名	博士論文題目	時間	担当教員 (○は司会者)
1	萩原 裕子	メディカルフィットネス施設における運動実施および継続行動に関する研究 -健康運動指導士から提供されるソーシャルサポートに着目して-	15：10～ 15：35	○ 長坂 祐二 人見 英里 曾根 文夫
2	吉兼 伸子	保育士のメンタルヘルス -陽性・陰性感情に基づく実証的研究-	15：35～ 16：00	○ 田中マキ子 長坂 祐二 上白木悦子

研究科長講評（16：00～16：05）